

---

# 東海第二発電所

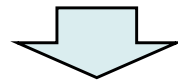
地盤(敷地周辺及び近傍の地質・地質構造),  
津波評価, 火山影響評価  
許可後の知見の確認について

令和5年7月6日

日本原子力発電株式会社

# 地盤(敷地周辺及び近傍の地質・地質構造), 津波評価, 火山影響評価 許可後の知見の確認について

- 地盤(敷地周辺及び近傍の地質・地質構造), 津波評価, 火山影響評価について, 令和3年12月22日の設置変更許可後に公表された新たな情報について確認し, 評価に反映すべき情報があるか確認を行った。
- 地盤・津波については, 評価に反映すべき新たな情報はないため, 評価結果に変更はない。
- 火山については, 新たな情報(中野他(2013)<sup>\*</sup>, 草野他(2022))を踏まえても, 評価結果に変更はない。



これまでの評価結果に影響がないことを確認した。

地盤: 活断層の評価長さや新たな断層に関連する知見はなく, 評価に反映すべき新たな情報はない。

津波: 地震に起因する津波(茨城県沖から房総沖に想定するプレート間地震)の波源に関する情報や行政機関による津波評価に関連する知見はなく, 評価に反映すべき新たな情報はない。

火山: 東海第二発電所に影響を及ぼし得る火山として抽出される13火山に変更は生じず, 降下火砕物シミュレーションの給源である赤城山に関するパラメータに変更がないため, 設計上考慮する降下火砕物の層厚(50cm)及び密度(1.5g/cm<sup>3</sup>)に変更は生じない。

- 詳細を次頁に示す。

<sup>\*</sup>中野他(2013)については, WEB版における令和5年7月5日までの内容を確認している。

# 火山影響評価 許可後の知見確認結果

- 東海第二発電所に影響を及ぼし得る火山(13火山)は以下の通り。
- なお, 既許可から火山名称が変更されている(日光白根山→日光白根火山群)※。

※中野他(2013)のWEB版の更新に伴う変更

表 東海第二発電所に影響を及ぼし得る火山

No.	火山名	東海第二発電所に影響を及ぼし得る火山 (13火山)	
		完新世に活動を行った火山 (11火山)	将来の活動可能性が否定できない火山 (2火山)
1	高原山	○	-
2	那須岳	○	-
3	男体・女峰火山群	○	-
4	日光白根火山群	○	-
5	赤城山	○	-
6	燧ヶ岳	○	-
7	安達太良山	○	-
8	笹森山	×	○
9	磐梯山	○	-
10	沼沢	○	-
11	子持山	×	○
12	吾妻山	○	-
13	榛名山	○	-

## 参考文献

- 中野俊, 西来邦章, 室田晋治, 星住英夫, 石塚吉浩, 伊藤順一, 川辺禎久, 及川輝樹, 古川竜太, 下司信夫, 石塚治, 山元孝広, 岸本清行編(2013):日本の火山(第3版), 産業技術総合研究所 地質調査総合センター
- 草野有紀・及川輝樹・石塚吉浩・石塚治・山元孝広(2022):日光白根及び三岳火山地質図. 火山地質図, no.22, 産業技術総合研究所 地質調査総合センター